

院内リーダー到達目標

レベル	レベルⅠ		レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ		主任	部長	
	I-1	I-2			Ⅳ-1	Ⅳ-2			
臨床能力段階	職場の指導や教育を受けながら看護実践を行うことができるレベル		所属の臨床場面において看護実践が1人でできるレベル	専任看護実践に加え、組織の役割を実践できるレベル	所属の臨床場面においては卓越した看護実践を実施し、組織的にも広範囲な役割遂行ができるレベル				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織の役割を理解し、組織の一員としての役割、責任を認識できる。 2. 一人前の看護師としての基礎ができる。 3. 指導や教育のもとで、基本的な看護を安全に実施できる。 4. 指導を受けることにより、自己の課題がわかる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 振返に基づいた看護を安全に1人で実践できる。 2. 先輩の指導をするための準備ができる。 3. 組織における委員の役割、責務を認識し、実行できる。 4. 小集団のリーダー、院内の委員会の一員としての役割や責務を認識し、実行できる。 5. 自己の学習課題に向けた学習活動ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的な看護活動が実践できる。 2. チーム内のリーダーとしての役割や責務を認識し実行できる。 3. 組織における委員の役割、責務を認識し、実行できる。 4. 自己の学習課題に向けた活動を展開できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的な看護活動を実践でき、かつ、他者のモデルを示すことができる。 2. 組織的かつ実践的知識を統合させた看護実践ができる。 3. 意欲が湧くリーダーシップを発揮することができる。 4. 問題を克服してリーダーシップが発揮できる。 5. 自己の学習課題に積極的に取り組み、指導的役割を発揮できる。 6. 院内の教育計画に沿った活動、研究活動を主体的にできる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部長の補佐、不在時には部長の職務の代行ができる。 2. 部長とスタッフのパイプ役となることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各部専任の責任者として、病院の理念、看護部の理念に沿った具体的な目標に部署に具体化できる。 2. 看護ケアの管理職として、スタッフの教育的支援を行い、そのための組織づくりができる。 3. 看護の視点、経営の視点双方から管理ができる。 		
看護倫理	常に患者の生命、人格、人権を尊重することを判断行動の基本とする。 2. 患者の年齢、人種、性別、社会的地位、経済的状況などにとらわれず、平等に対応する。 3. 患者の権利を守る事ができる。 4. 様々な制約のある条件下で看護をする時、創意、工夫、努力によって可能な限りよりよい看護を提供する。 5. 自己の役割において、可能なより実施した看護については個人としての責任をもつ。 6. 看護職の行動は保健衛生法と関係保健福祉法に基づきものであることを理解し、実践する。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に行っている業務、看護を倫理的に考えられることができる。 2. 患者に対して、自己決定を尊重した対応ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理に関するカンファレンスで自分の意見を表明しに基づいて述べることができる。 2. 組織における委員の役割、責務を倫理的に評価できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理的配慮に基づく看護実践ができる。 2. 倫理カンファレンスの進行が出来る。 3. スタッフにフィードバック出来る。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の倫理観が明確にできる。 2. 倫理的配慮に基づく看護実践の管理ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の倫理観が明確にできる。 2. 倫理的配慮に基づく看護実践の管理ができる。 	
態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装・髪飾・態度は組織の規程に沿っている。 2. 上司からの指示命令は的確に実行する。 3. 組織での手続を守る。 4. 組織内のルールを守る。 5. 報告・連絡・相談ができる。 6. 臨日尚なく仕事ができる。 7. 職場内の整理、整頓ができる。 8. 病院の備品を大切に使用できる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装・髪飾・態度は組織の規程に沿っている。 2. 上司からの指示命令は的確に実行する。 3. 組織での手続を守る。 4. 組織内のルールを守る。 5. 報告・連絡・相談ができる。 6. 臨日尚なく仕事ができる。 7. 職場内の整理、整頓ができる。 8. 病院の備品を大切に使用できる。 9. 先輩のモデルになることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装・髪飾・態度は組織の規程に沿っている。 2. 上司からの指示命令は的確に実行する。 3. 組織での手続を守る。 4. 組織内のルールを守る。 5. 報告・連絡・相談ができる。 6. 臨日尚なく仕事ができる。 7. 職場内の整理、整頓ができる。 8. 病院の備品を大切に使用できる。 9. 先輩のモデルになることができる。 10. 態度について先輩の指導を受けられる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム内、部署内の看護について評価、修正ができる。 2. 評価が求められるリーダーシップを発揮することができる。 3. あらゆる場面で習熟した看護技術を提供できる。 4. 記録の整理ができる。 				
看護サービスの実践能力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要な情報を集めることができる。 2. 看護計画に沿って実践ができる。 3. 指導を受けながら、受け持ち患者の看護計画を立案、評価できる。 4. 看護の進捗を評価できる。 5. 実施したことがわからないこと、問題が生じた時はリーダーに報告できる。 6. 担当患者の病歴から指示を受けられることができる。 7. 1日の業務の流れを把握して時間の調整ができる。 8. 基本的看護技術を用いた看護マニュアルに沿った看護実践の提供、業務ができる。 9. 主な疾患の観察項目わかる。 10. 観察したことを報告できる。 11. 急変時の処置事項がわかる。 12. 急変時に対応を求められることができる。 13. 救急カートの中を把握できる。 14. 救急処置の流れがわかる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要な情報が収集できる。 2. 情報の中から、患者にとって効果的、非効果的なものを整理できる。 3. 看護の進捗を評価できる。 4. 問題意識をもって業務、看護ができる。気づきは先ず指導者に報告できる。 5. 患者の優先順位を考慮して行動ができる。 6. 指導者の主な疾患の看護ができる。 7. 部署で実施される主な処置ができる。 8. 基本的看護技術を用いた看護マニュアルに沿った看護実践の提供、業務ができる。 9. 急変時の観察ができる。 10. 観察したことを報告できる。 11. 急変時に指示された物品の用意ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護計画の評価、修正が適切にできる。 2. 企業での看護計画の指導ができる。 3. 患者の安全を確保し、個性的な看護を提供できる。 4. 予測していないことが発生した時に、優先順位を把握し対応できる。 5. 基本的看護技術の活用、工夫ができる。 6. 部署内の優先メニューを把握し看護を提供できる。 7. 急変時に適切な指示を受けられる。 8. 後援に適切な看護技術の指導ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部署内の看護実践について全般的に問題意識をもつことができる。 2. 評価に基づいた指導ができる。 3. あらゆる場面で習熟した看護技術を提供できる。 4. 記録の整理ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. どのような状況時にも、患者の状態を正確に把握し、個々の状態に応じた看護実践の指導ができる。 2. 看護実践の評価(看護の効果、患者満足)ができる。 3. 患者満足度が上がるための提案や改善案が出来る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部署に必要な看護を提起、実践の評価ができる。 2. 広い視野で状況を判断し、適切な看護できるように指導援助する。 3. 患者満足度が上がるための提案や改善案が出来る。 		
人間関係能力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら挨拶ができる。 2. 患者、家族に自己紹介ができる。 3. 院内の接遇マニュアルに沿って対応ができる。(電話、直営) 4. 部署内で相談、報告、連絡ができる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉のモデルとなる挨拶ができる。 2. 患者・家族と安定した関係をもつことができる。 3. 自己の傾向がわかり、患者・家族とのコミュニケーションがとれる。 4. 他部門とのコミュニケーションがとれる。 5. 患者心理を理解し対応しようと努力する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者・家族の状況に応じた対応ができる。 2. 他職種との立場を尊重し、意見交換ができる。 3. 自分の関わりを見直しすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他部門、チーム内、患者・家族との関係が円滑にいよいよ構築できる。 2. 看護ケアを円滑に進めるために、各部門と連携できる。 3. 相手の考えを尊重し、自分の考えを述べることができる。 4. 患者・家族と適切な距離を保ち患者・家族の自己決定を支援することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々のスタッフに心を寄せ、病院、病棟の方針に沿って協力できるチーム作りができる。 2. 関係構築、他部署との調整ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の良好な人間関係の調整ができる。 2. 関係構築、他部署との調整ができる。 		
看護管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム内のメンバーの役割ができる。 2. 業務開始時間と業務開始ができるように時間管理できる。 3. 組織の教育計画に沿って研修に参加できる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 夜勤のリーダーができる。 2. 業務時間内に業務が終了できるように時間管理ができる。 3. 指示通りに業務ができる。 4. 組織の教育計画、企画する行事に積極的に参加できる。 4. チーム内の活動に参加、協力できる。 5. 部署内の役割を理解し行動できる。 6. カンファレンスで自分の意見を言うことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々のリーダー業務ができる。 2. 時間内に業務全体が終了できるようにチーム内の調整ができる。 3. 上司、他職種との相談、連絡、報告を確実に行うことができる。 4. チーム内の業務を考慮して、チームメンバー割り当てができる。 5. カンファレンスの進行ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームリーダーの役割を補佐できる。 2. 組織の目標(部署、チーム、個人)が達成されるように他職の指導ができる。 3. シンパの教育、指導についてチームリーダーと協力できる。 4. カンファレンスでスタッフの意見を引き出す、まとめることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームリーダーとして、1年間を通してリーダーシップをとることができる。 2. チーム目標をメンバーと立案、実施、評価できる。 3. 他チームに協力できるように調整できる。 4. 個々のスタッフの能力が発揮できるように、業務分担ができる。 5. 主任、部長の不在時の代行としての行動がとれる。 6. 組織の目標を達成できるようにメンバーの指導ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部署・委員会の目標達成に向けて、看護チームや委員会メンバーを支援することができる。 2. 個々のスタッフの実践能力、院内、病棟での役割や責任などを適切に評価することができる。 3. 部署の安全、看護力などを考慮した施設整備や、計画に沿って、主体的な業務が進行できるように指導ができる。 4. 職員の仕事管理を行うことができる。 5. 看護実践、看護記録を通して、看護の指導ができる。 6. 部署での伝達事項などの周知徹底を促せるように工夫ができる。 		
安全	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全対策ガイドラインを理解できる。 2. 看護標準・手順を理解できる。 3. 院内感染対策ガイドラインを理解できる。 4. 緊急時対応が完了してスタンダードプロシージャが確実に実施できる。 5. 看護注の管理、安全に輸液ポンプの使用ができる。 4. 危険を予測した行動ができる。 6. 暴力発生時、助言を受けて適切な行動が取れる。 7. 消毒、滅菌、医療廃棄物の処理などマニュアルに沿ってできる。 8. 指導を受けながらヒヤリ・ハットレポートを書くことができる。 9. CVPPPの概要がわかる。 10. 暴力発生時、助言を受けて適切な行動が取れる。 11. 指導の下に身体拘束が確実に実施できる。 12. 身体拘束後に拘束具の片付けが確実にできる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内で発生した事故時に、院内マニュアルに沿って対応できる。 2. 危険を予測した場合は、速やかにリーダー、上司に報告できる。 3. 看護注の管理、安全に輸液ポンプの使用ができる。 4. 危険を予測した行動ができる。 5. 暴力発生時、助言を受けて適切な行動が取れる。 6. CVPPPの研修を受け身体介入技術が活用できる。 7. 感染対策ガイドラインに沿ってスタンダードプロシージャが確実に実施できる。 8. 安全な状況下の患者に対して安全に身体拘束が実施できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアルを活用し、活用できない点、修正した方がよい点を検討できる。 2. 部署での危険を予測し、問題を提起できる。 3. 暴力発生時に専任対応し、スタッフに指示がでる。 4. 発生した事故について対策ができる。また、スタッフに指導ができる。 5. 感染安全、院内感染が提示している内容をスタッフが遵守するように指導できる。 6. デイスケーションの基本スキルが活用できる。 7. スタンダードプロシージャについて、レベルⅢまでの看護期に対し、適切な指導ができる。 8. 身体拘束中の患者の安全が保持できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時、適切な判断をし対応できる。 2. 事故防止のために日々の活動が継続できるようにスタッフの指導ができる。 3. 事故発生時には、専任と連携して適切に対応できる。 3. ヒヤリ・ハットの解決までプロセスが理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な環境を確保するために部署内の整理・整頓について日々スタッフの指導ができる。 2. 事故発生時には、関係者と連携して適切に対応できるようにスタッフの指導ができる。 3. ヒヤリ・ハットの解決までプロセスが理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内の安全な環境を確保するために他部署との連絡調整ができる。 2. 事故発生時は、関係者と連携して適切に対応できる。 3. 部署のヒヤリ・ハットの内容を把握・分析して、適切な対策を検討・指導ができる。 		
教育・研究	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内で企画されたレベルⅠの研修に参加できる。 2. 院内の医療安全研修、感染対策研修に参加できる。 3. 院内の看護研究発表に参加できる。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち事例をまとめ、発表することができる。 2. 院内研修に自主的に参加できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所属、院外のプリセプター研修に参加できる。 2. プリセプター研修に自主的に参加できる。 3. 組織が企画した研修に主体的に参加できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所属、組織の教育に関わることができる。 2. 自己開発のために努力できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新採用者、部署異動者がスムーズに業務に慣れるように援助ができる。 2. 自己開発のために努力できる。 3. 看護研究の指導ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新採用者、部署異動者がスムーズに業務に慣れるように援助ができる。 2. 自己開発の支援ができる。 3. 自己研鑽に努め、スタッフにも積極的に勉強会、研修会への参加を促す。 4. 看護研究の支援ができる。 		
院内リーダー研修	<ol style="list-style-type: none"> レベルⅠ-1研修 入職研修・看護技術講習 フォローアップ研修 		<ol style="list-style-type: none"> レベルⅠ-2研修 看護実践研修 	<ol style="list-style-type: none"> レベルⅡ研修 	<ol style="list-style-type: none"> レベルⅢ研修 	<ol style="list-style-type: none"> レベルⅣ-1研修 	<ol style="list-style-type: none"> レベルⅣ-2研修 	<ol style="list-style-type: none"> 管理研修 	<ol style="list-style-type: none"> 管理研修
自主研修	<ol style="list-style-type: none"> 精神科看護学 精神リハビリテーション論Ⅰ 精神保健福祉論 リーダーシップ論Ⅰ 		<ol style="list-style-type: none"> 精神リハビリテーション論Ⅱ 看護実践論 精神保健福祉論Ⅱ リーダーシップ論Ⅱ 	<ol style="list-style-type: none"> 精神保健論Ⅱ 家族システム論 教育Ⅰ リーダーシップ論Ⅲ(マネジメント) 	<ol style="list-style-type: none"> 教育Ⅱ リーダーシップ論Ⅳ(看護管理) 		<ol style="list-style-type: none"> 管理研修 	<ol style="list-style-type: none"> 管理研修 	